

富良野構想区域の取組状況

地域医療構想調整会議における取組状況

| | |
|-----|-----|
| 圏域名 | 富良野 |
|-----|-----|

| | |
|------|-------------------|
| タイトル | 地域医療連携推進法人の取組について |
|------|-------------------|

【概要】

○富良野医療圏の医療の現状（日本医師会総合政策研究機構による分析 2022 版 2020 年のデータから）

- ・ 医師：総医師数の偏差値 40（病院医師数 43、診療所医師数 36）と医師数は全て少ない
- ・ 看護師：総看護師数の偏差値は 48 と全国平均レベル
- ・ 一般病床等：人口当たりの偏差値は 56 で多い
- ・ 全身麻酔：件数 314（偏差値 37）と少ない、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。
- ・ 療養病床：人口当たり偏差値は 51 と全国平均レベル
- ・ リハビリ：療法士総数は偏差値 47 とやや少なく、回復期病床数は 0 である。
- ・ 精神病床：人口当たりの偏差値は 58 で精神病床数は多い
- ・ 診療所数：人口当たりの偏差値は 39 で少ない。

○富良野圏域の人口は 2020 年の 39,834 人から 2050 年には 22,494 人に減少することが推計されており、老年人口割合は 2020 年の 33.6%から 2050 年には 46.2%に増加すると推計されている。

○人口減少と高齢化が急速に進行する中においても、富良野圏域における医療機関の開設者や介護事業を行う者が一体となり、限られた医療資源を効果的かつ効率的に活用しながら、相互の機能分担及び業務連携を進め、住民が将来にわたり住み慣れた地域で必要な医療・介護サービスを受け続けられる体制の構築を目指すため、富良野協会病院が中心となり、説明会の開催などの準備を進め地域医療連携推進法人の設立に至った。

【地域医療連携推進法人や統合・機能集約の概要】

- 名称：地域医療連携推進法人 ふらのメディカルアライアンス
- 参加団体（医療機関）

- ・ 社会福祉法人北海道社会事業協会（富良野協会病院）
- ・ 富良野市（富良野市立山部診療所）
- ・ 中富良野町（なかふらのクリニック）

【主な経過】

- 令和5年11月 一般社団法人設立
- 令和6年3月 北海道知事より地域医療連携推進法人の認定を受ける。
- 令和6年3月 名称の変更登記「地域医療連携推進法人 ふらのメディカルアライアンス」

【主な実績及び今後の課題・取組予定など】

別添 「ふらのメディカルアライアンスの事業計画」参照

ふらのメディカルアライアンスの事業計画

1. 圏域で参加予定医療機関が新法人発足前から行っていること。

| | |
|---------------|--|
| 研修 | 全医療機関対象の感染対策研修（富良野協会病院） |
| スタッフ配置 | <p>医師派遣 富良野協会病院と老健ふらの→富良野市山部診療所 富良野協会病院→上富良野町立病院 老健ふらの→富良野協会病院 圏域全市町村における乳幼児健診（富良野協会病院） 上富良野町就学時健診（富良野協会病院）</p> <p>コロナワクチン出張接種 富良野協会病院→スマイルふらのなど クラスター発生時の感染対策 富良野協会病院→圏域医療機関 山部診療所の AED 点検業務（富良野協会病院 ME） 北の峰学園、老健ふらのでの機能評価（富良野協会病院 ST、PT） 占冠村介護予防事業（富良野協会病院リハビリテーション部門）</p> |
| 病床の再編 | |
| 設備共同利用 | <p>市内医療機関の MRI、CT などの高額医療機器利用（富良野協会病院） 上富町立病院、はやし耳鼻咽喉科クリニックの SARS-CoV2 遺伝子検査 （富良野協会病院） 老健ふらの、北の峰病院の緊急検査（富良野協会病院）</p> |
| 物品共同購入 | |
| その他 | <p>医療安全情報の共有 富良野協会病院と老健ふらの 富良野市山部診療所へのシリンジポンプ貸出（富良野協会病院）</p> |

2. 初年度および次年度(令和6年4月1日~令和8年3月31日: 24か月)

1) 新規事業計画

| | |
|---------------|--|
| 研修 | <p>新法人参加医療機関対象の一次救命処置（BLS）講習（富良野協会病院） 新法人参加医療機関対象の医療安全講習（富良野協会病院）</p> |
| スタッフ配置 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師派遣 富良野協会病院→中富良野町立病院 ・ 協会病院医師による訪問看護への応援 ・ 看護師派遣（4名） 中富良野町立病院→富良野協会病院（回復期病床 50床を再開） 富良野協会病院→老健ふらの訪問看護ステーション 老健ふらの訪問看護ステーション→なかふらのクリニック訪問看護ステーション ・ リハビリテーションスタッフ派遣 富良野協会病院→こぶし苑 ・ 旭川医科大学との連携により、旭川医科大学富良野地域医療教育セン |

| | |
|------------------|---|
| | <p>ター（富良野協会病院）への医師派遣により富良野圏域の急性期医療・在宅医療の強化（内科医師 1名追加派遣）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老健ふらの訪問看護ステーションを協会病院内へ移転することにより情報共有を図る。 |
| 病床の再編 | <p>中富良野町立病院無床化に伴う入院患者受け入れ（富良野協会病院） 特別養護老人ホームこぶし苑からの入院患者受け入れ（富良野協会病院）</p> |
| 設備共同利用 | <p>中富良野町立病院のMRI、CT などの高額医療機器利用（富良野協会病院） 中富良野町立病院の遺伝子検査、緊急検査（富良野協会病院）</p> |
| 物品共同購入 | <p>シリンジや栄養セットなど JIS 規格に定められた物品 D to P with N に係る物品の整備</p> |
| 多職種連携情報共有 | <ul style="list-style-type: none"> ・協会病院を S 管理者、他の参加医療機関を管理者としてバイタルリンク®に加入し多職種連携情報共有を図る。（契約予定） |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・D to P with N（訪問看護ステーションと連携したオンライン診療の確立） ・医療安全情報の共有 法人参加の全医療機関 ・糖尿病手帳等を活用し、医療スタッフと介護スタッフが情報を共有して、重症化予防に取り組む ・法人内で人事交流を図ることで、専門性を発揮したり、多様な働き方を希望する職員を支援することにより、離職防止や人材確保を図る。 |

3. その後（令和8年4月1日以降）

1) 新規事業計画

新法人の活動が順調に推移すれば、参加医療機関の増加が予想される。

| | |
|------------------|---|
| 研修 | <p>圏域全医療機関対象の一次救命処置（BLS）講習（富良野協会病院） 圏域全医療機関対象の医療安全講習（富良野協会病院）</p> |
| スタッフ配置 | <p>参加法人交互において医師、看護師、介護福祉士、リハビリテーションスタッフ等の派遣</p> |
| 病床の再編 | <p>入院機能は、急性期は富良野協会病院に集約化しつつ、回復期や慢性期は他の医療機関と富良野協会病院との連携の下、地域包括ケア機能の強化を図る。</p> |
| 設備共同利用 | <p>参加医療機関のニーズに応じ、例えば臨床検査の富良野協会病院への集約化を検討する。</p> |
| 物品共同購入 | <p>スケールメリットを活かせる医療材料・薬品等があれば共同交渉・共同購入を増加させる。</p> |
| 多職種連携情報共有 | <ul style="list-style-type: none"> ・協会病院を S 管理者、他の参加医療機関を管理者としてバイタルリンク®に加入することで多職種連携情報共有を図る。 |

| | |
|------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・協会病院の「協力医療機関連携加算」対象介護施設にも管理者として加入してもらい、入所者現病歴の情報共有や急変時対応の確認などを図る会議をオンライン開催 |
| その他 | <p>先進的な I C T の活用を研究し、患者 I D の共通化等医療情報の共有化・連携化を図る。</p> <p>訪問看護や在宅診療を含めた圏域全体の連携を強化し、実効性のある地域包括ケアシステムを構築する。</p> |